

わかさ 消防だより

編集・発行  
若狭(組)消防本部  
小浜市大手町7-8  
TEL 53-0119(代)  
<https://www.wakasa-fd.jp>

第94号



高浜消防団の一斉放水  
(高浜町塩土：若狭高浜魚釣り公園駐車場)

令和4年消防出初式が今年も若狭消防組合管内各地で開催されました。昨年は全国では甚大な自然災害が発生しましたが、幸い若狭消防管内では台風などの災害に見舞われず、平穏な1年でした。

今年も平穏無事な1年であることを祈願し、消防職団員が一斉放水、観閲式、分列行進、市中パレードなどを行いました。

## 年末年始警戒 慰問・激励を受けました



若狭地区防火推進協会 佐藤副会長 (写真右側)



若狭ロータリークラブ 藤本会長 (写真左側)

若狭消防組合では、毎年暖房器具等火気の使用が多くなる年末年始の寒さ厳しい時季に、年末年始特別警戒を実施しており、この活動に対して若狭ロータリークラブ様、若狭地区防火推進協会様から慰問・激励を受けました。

## 消防団活動に従事されている消防団、消防団員を紹介します

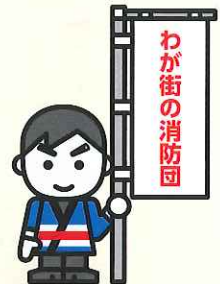


高浜消防団 第4分団長  
馬淵弘至さん

今回は、高浜消防団第4分団長の馬淵弘至さんをご紹介します。

馬淵さんは、青郷郵便局で局長をされています。通常の業務と消防団活動を両立され、今年で消防団勤務27年目となります。令和2年度からは分団長としてその職責を自覚し、地域の消防団活動に積極的に参加しており、地域住民の期待を担い活動されています。

最近、プライベートでは、大型バイクに乗って本格的なサーキット走行を楽しまれたり、ミニバイクレース等にも参加されています。



## 2021年 火災・救急・救助統計

	本署	上中分署	名田庄分署	高浜分署	大飯分署	合計
火災	2 (-10)	1 (-4)	2 (+1)	5 (+2)	1 (±0)	11 (-11)
救急	1,128 (±0)	282 (+5)	128 (+11)	450 (+80)	224 (+17)	2,212 (+113)
救助	11 (-7)	3 (-3)	1 (-1)	7 (±0)	4 (±0)	26 (-11)

### ○火災件数は、11件 (前年比11件の減少)

…火災種別では、建物火災が5件 (前年比6件減)、車両火災が0件 (前年比3件減)、船舶火災が1件 (前年比±0)、その他火災が5件 (前年比2件減) でした。出火原因をみると、建物火災では、電気機器、電気器具等があげられます。その他火災では、発生した5件には、屋外においての枯草やごみの焼却から拡大した火災が2件含まれています。

### ○救急出場件数は、2,212件 (前年比113件の増加)

…医療機関に収容した患者数は2,061人で、65歳以上の高齢者が占める割合は1,499人で72.7%でした。出場種別では、急病が1,396件で全体の63.1%を占めています。

### ○救助出場件数は、26件 (前年比11件の減少)

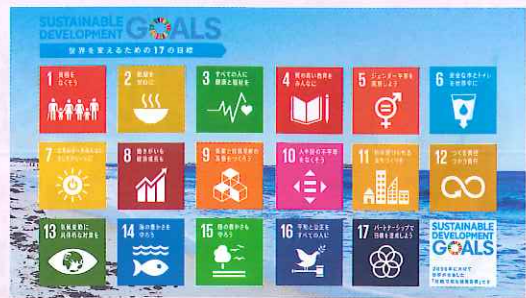
…出場件数26件のうち活動件数は20件 (前年比1件増) で、救助人員の数は20人 (前年比3人減) でした。事故種別では交通事故が12件で全体の46.2%を占めています。



## 廃棄されていた消防用ホースを再生利用します

私たち消防が訓練や現場で使用するホースは、経年劣化で破れたりして使えなくなると、廃棄処分されてきました。若狭消防署名田庄分署ではこれらのホースを再生利用することを考え、住民の方々が身近に利用してもらえるような傘入れを作成しました。消防用ホースの特性を活かして、雨でぬれた傘を収納しても周りが濡れることなく、コンパクトに収まります。

この取り組みは、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) に基づく活動で、名田庄分署では、「里山まつり」での出品や、名田庄地域のバス停に、雨天時等の貸し出し用傘入れとして置かせていただき、地域の火災予防につとめていきます。



廃棄されていたホース



作業中の消防隊員



完成した傘入れ

## 大型油圧救助資機材を配備しました



大型油圧救助資機材は、主に交通救助の際に使用する救助資機材です。例えば助けなければならない人が自動車の中に閉じ込められていた場合、人が挟まっている部分を広げたり、ドア部分を切り離したりすることができます。従来のものよりも様々な改良がなされたことで、準備時間が格段に早くなり、また搬送が容易になったことから、より迅速に使用することが可能となりました。この大型油圧資機材は、若狭消防署上中分署の水槽付き消防ポンプ自動車に配備されています。

## 防火衣を更新しました



新防火衣

若狭消防組合では職員が火災等災害時に着用する防火衣が導入から10年経過していることから、昨年度から今年度にかけて全職員分を更新しました。新しい防火衣は、色がネイビーからベージュに変更され、また上衣腹部のベルトは下衣に装着されています。そのほか従来の防火衣より、隊員の安全確保を目的に最新の仕様となりました。



旧防火衣

# 春の火災予防運動

3月20日(日)～3月26日(土)

2021年度全国統一標語

おうち時間 家族で点検 火の始末

## 住宅防火 いのちを守る 10のポイント

### 4つの習慣

- 

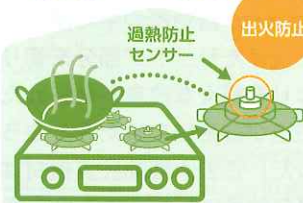
1 寝たばこは絶対にしない、させない
- 


2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 


3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 


4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く


### 6つの対策


- 

1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 

2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 

3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防火品を使用する
- 

4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 

5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 

6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う